

報告書公開のための電子化仕様

全国文化財総覧を使って発掘調査報告書(以下「報告書」という。)を公開する場合の推奨仕様は次のとおりです。

1. ファイル形式

ファイル形式は、PDF(Portable Document Format)とする。

2. 文字

フォント埋め込みを行い該当フォントの無い端末でも利用できるように配慮する。また、フォントのライセンスに注意すること、及び検索可能な文字コードを使用すること。

3. 写真

ファイルサイズに最も影響を与えるデータのため、150dpi で jpeg 圧縮とする。

4. 図・地図

ベクトルデータが使える場合には、ベクトルデータを使うこと。ベクトルデータを使うことにより、拡大時に滑らかな表示を得ることが出来る。

2 値のビットマップ形式は 300dpi とし、複数色を使用するビットマップ形式は、写真に準ずる。

5. 製版用記号

トンボ等の製版用記号は取り除き出版ページ単位で1ページを作成する。

6. ファイル分割

公開用のファイルサイズが100MB 以上の場合には、100MB 未満となるように章毎等でファイル分割を行う。

7. 目次

しおりを作成し、目次を設定すること。これにより、該当頁を素早く表示することができる。

8. その他

PDF は、スクリプトやマルチメディアファイルなどの将来的に不安定な規格は使用しないこと。
また、ウィルス混入に注意すること。

(参考)

J-STAGE 運用マニュアル. PDF 作成指針 第 3.0 版(2024 年 4 月)

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage_pdf_guideline.pdf